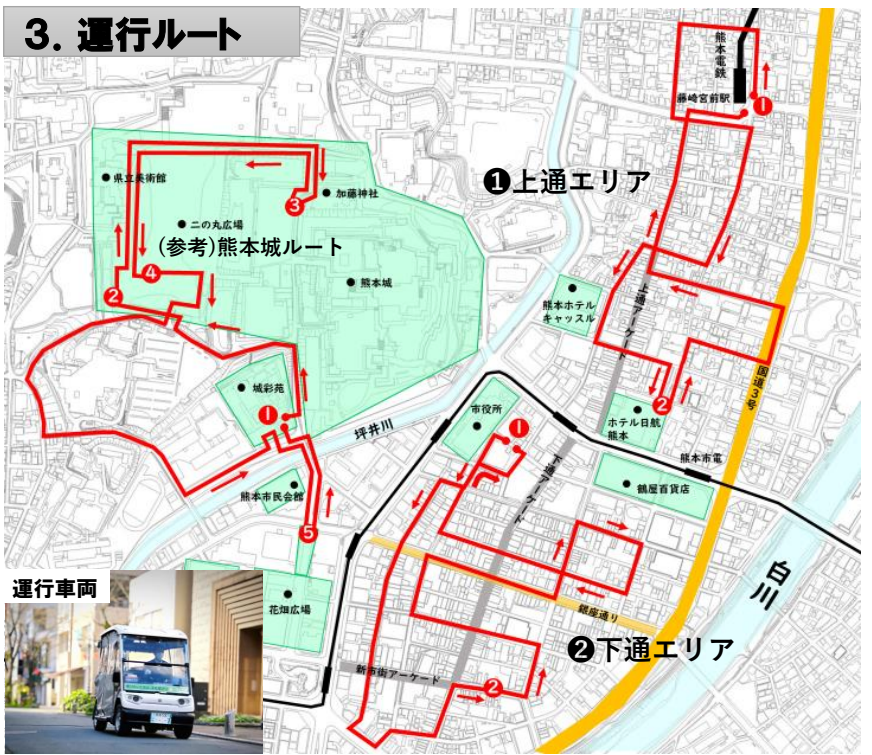


- ✓ 令和4年度から、熊本城・上通・下通エリアで、**中心市街地の回遊性向上を主な目的**としつつ、熊本電鉄との結節強化、高齢者の移動支援等、これらの**効果を検証するために実証実験を実施**。
- ✓ 令和6年1月～5月に実施した**上通・下通エリアは、一日の平均利用者数が、熊本城エリアと比べると極端に少なかった**。
- ✓ このような利用者の低迷は、『**ターゲットが少ないルートを運行**』、『**発着点がターゲットが集まる施設付近でなかった**』、『**運行ルートがジグザグで複雑**』など、**運行エリアやルート設定が原因**と考えられる。
- ✓ 効果的な運行エリアやルートの設定には、まずは、**誰をターゲットにするか明確にすることが必要**。
- ✓ 引き続き、これらの課題や利用者の意見、利用状況を分析したうえで、ターゲットや適切な運行ルートなど、今後の方向性について検討していく。

1. 実証実験の結果概要			
運行エリア	①上通エリア	②下通エリア	(参考) 熊本城エリア
実施期間	R6.1.13～3.12 (59日間)	R6.3.16～5.15 (61日間)	R4.5.13～5.22 (10日間)
運行時間	9:00～17:00	9:10～17:10	9:00～17:00
運賃	100円/回	100円/回 ※4/27-5/15無料	無料
利用人数	502人 ※電鉄駅前の乗降者 403人	416人	2,018人
1日の平均利用者	8.5人/日	6.8人/日	201.8人/日
主な利用者(ターゲット)	電鉄利用者 来訪者	来訪者	観光客

2. 今回の実証実験における主な課題と解決策	
課題	解決策
ターゲットが少ないルートを運行	誰をターゲットにするか明確にし、 これが多く集まるエリアに、 ルートを設定 ターゲットが多く集まる場所や施設に発着点 を設定
発着点がターゲットが集まる施設付近でなかった	
運行ルートがジグザグで複雑、 何処に行くのか分かりにくい	乗車意欲低 運行ルートは、 シンプル に設定



4. 利用者の主な意見
- ・ 熊本城やサクラマチ（商業・バス）とつながってほしい
 - ・ 上通ー下通間をつないでほしい、アーケード内を走ってほしい
 - ・ 運行便数の増加、運行時間を拡充してほしい